

「清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト」 平成29年度 事業概要

目 的

オリンピック等で活躍できるトップアスリートを県内のジュニア世代から発掘・育成するため、県独自の育成プログラムを計画的・継続的に実施し、ジュニアの適性に合った競技種目の選択ができるタレント発掘・育成システムを確立する。

内 容

【発掘…見つける（発掘プログラム）】

県内小学4、6年生を対象に運動能力測定を実施し、運動能力が高く優れた素質を持つ選手を各25人程度発掘する。

- ・平成26年度運動能力測定会を実施（約400人参加）
第1期生55人（清流ジュニア26人 清流キッズ31人）を発掘
- ・平成27年度運動能力測定会を実施（約500人参加）
第2期生51人（清流ジュニア25人 清流キッズ26人）を発掘
- ・平成28年度運動能力測定会を実施（約540人参加）
第3期生52人（清流ジュニア26人 清流キッズ26人）を発掘

【育成…育てる（育成プログラム）】

□競技プログラム

各競技団体の優秀な指導者のもとで多競技種目を体験し、自分の得意な能力を理解しながら将来をみすえて、自分の適性にあった競技種目を選択できる能力を育成する。

- ・清流ジュニア（中学1～3年生）
12競技種目を年間20日程度、オリンピック出場の可能性のある競技種目に特化して、3年間で体験
○予定競技種目（ホッケー、フェンシング、ボクシング、ラグビーフットボール、ウエイトリフティング、陸上競技、ライフル射撃、レスリング、カヌー、スポーツクライミング、空手道、柔道）
- ・清流キッズ（小学5、6年生）
20競技種目を年間20日程度、2年間で体験
○予定競技種目（ジュニア12種目に加え、アーチェリー、体操、水球、バドミントン、ハンドボール、スケート、ボート、セーリング）

※1競技種目、原則1～4日程度体験（1日・1コマ＝土曜日18時～20時）

□共通プログラム

メンタルトレーニング、コミュニケーション能力、栄養・医科学などの講義等をとおして、トップアスリートに必要な知識・知的能力を育成する。

- ・スポーツ心理学、栄養学、医科学、トレーニング等の講義を5日程度実施
- ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアキャンププログラムを2日間実施
- ・日本一運動部活動見学を特別プログラムとして2日間実施
- ・オリンピックなどトップアスリートを講師に特別プログラムを実施

【選択…活かす（パスウェイ）】

育成プログラム修了時に、中学校・高校進学以降にトップアスリートを目指せる可能性のある最適な競技種目を選択できるように、選手、保護者に助言する。

- ・三者面談を実施

実施体制

- ・主 催 : 岐阜県
- ・共 催 : (公財) 岐阜県体育協会
- ・主 管 : 関係競技団体
- ・後 援 : 岐阜県教育委員会 ・ (独) 日本スポーツ振興センター
- ・協 力 : 岐阜大学・岐阜聖徳学園大学・岐阜経済大学・朝日大学・中部学院大学
大塚製薬(株)